【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年3月14日(2022.3.14)

【公開番号】特開2020-154435(P2020-154435A)
【公開日】令和2年9月24日(2020.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2020-039
【出願番号】特願2019-50091(P2019-50091)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｋ　7/10(2006.01)
Ｇ０７Ｃ　9/00(2020.01)
Ｇ０７Ｇ　1/12(2006.01)
Ｇ０６Ｑ 50/12(2012.01)
Ｇ０６Ｋ 17/00(2006.01)
Ｇ０６Ｋ 13/07(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｋ　7/10　２６４
Ｇ０７Ｃ　9/00　　Ｚ
Ｇ０７Ｇ　1/12　３６１Ａ
Ｇ０６Ｑ 50/12
Ｇ０６Ｋ 17/00　０２２
Ｇ０６Ｋ 13/07　　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和4年3月4日(2022.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
宿泊施設におけるルームキーを回収するルームキー回収ボックスであって、
前記ルームキーが保持する部屋情報を読み取る部屋情報読取部と、
当該部屋情報を、宿泊施設のフロント業務装置に出力する部屋情報出力部と、
前記回収口又はその周囲に設けられた発光部と、
利用者の接近を感知するセンサーとを備え、
当該センサーは利用者の接近を感知し、回収口の周りに設けた発光部を点灯させる、ルームキー回収ボックス。
【請求項２】
更に、前記部屋情報読取部が読み取った部屋情報を保持する部屋情報保持部を備えており、
前記ルームキーはＩＣ回路を備えたカード式のルームキーであって、前記部屋情報読取部は当該ＩＣ回路に保存されている部屋情報を取得し、
前記部屋情報保持部は、前記部屋情報読取部が取得した部屋情報と共に、部屋情報読取部が部屋情報を読み取った読取時刻をテキストデータで保持し、
前記部屋情報出力部は、所定の時間ごと又は所定の情報量ごとに、部屋情報保持部が保持する部屋情報と読取時刻を、テキストデータで宿泊施設のフロント業務装置に送信する、
請求項１に記載のルームキー回収ボックス。
【請求項３】

更に、宿泊施設から提供されたルームキーの回収口を備えた筐体と、
当該回収口から差し込まれたルームキーを案内する案内路を備えており、
当該回収口から差し込まれたルームキーの移動方向の下流側には、前記部屋情報読取部が設けられ、当該部屋情報読取部は、前記ルームキーの回収口に差し込まれた回収後のルームキーから部屋情報を読み取ると共に、案内するルームキーの移動速度を変化させる速度制御部を設けている、請求項１または２に記載のルームキー回収ボックス。
【請求項４】
前記部屋情報読取部における部屋情報の読み取りが正常に行われた場合、当該読み取りが正常に行われなかった場合、又は前記案内路におけるルームキーの移動により読取音を発する音声出力装置を備える請求項３に記載のルームキー回収ボックス。
【請求項５】
前記速度制御部は、前記部屋情報読取部が設けられている領域において、案内路に差し込まれたルームキーの移動速度を減速させることにより読み取り時間を十分に確保して、正確に部屋情報を取得し、
前記筐体には、
前記回収口又はその周囲に設けられた発光部と、
前記回収口から差し込まれ、且つ前記部屋情報読取部で部屋情報が読み取られたルームキーを回収する回収箱と、
少なくとも前記部屋情報読取部及び部屋情報出力部に対して給電する可搬式の電源部とを備える、請求項３又は４に記載のルームキー回収ボックス。
【請求項６】
請求項１～５の何れか一項に記載のルームキー回収ボックスと、宿泊施設におけるチェックアウト処理を行うフロント業務装置とからなるチェックアウトシステムであって、
当該フロント業務装置は、前記ルームキー回収ボックスから出力された部屋情報を取得して、少なくともルームクリーニング作業の開始の可否を識別可能なルームクリーニング情報を出力する、チェックアウトシステム。
【請求項７】
前記フロント業務装置は、チェックアウト処理における部屋情報の取得経路を２つ以上備えており、
当該部屋情報の取得経路は、前記請求項１～５の何れか一項に記載のルームキー回収ボックスから出力された部屋情報を取得する第１系統と、チェックアウト処理において清算処理を必要とするルームキーについて個別に部屋情報を取得する第２系統とを含んでいる、請求項７に記載の、チェックアウトシステム。